



開成町婦人会だより

責任者・会長 遠藤 敦子 編集・発行・婦人会広報部



10/28 ウォーキング・瀬戸屋敷にて

「一陽来復」

町議会 教育民生常任委員長 石田 史行

新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。とりわけ昨年11月頃から始まった「第3波」の感染拡大のペースは非常に早く、国が2回目となる緊急事態宣言を発出し、開成町も感染者が急増しました。

そのため、町の様々なイベント（あじさい祭り、阿波踊りなど）はことごとく中止や延期に追い込まれました。婦人会の皆様には、毎年2月に開催され、町内外からのお客様のおもてなしを担って頂いておりました「瀬戸屋敷ひな祭り」が中止となったことで、大変悔しい思いをされたと思います。

かつて約100年前の大正時代に、日本を含めて全世界で猛威を振るった新型インフルエンザ、いわゆる「スペインかぜ」は、全世界で約500万人の死者が出たと言われています。しかし、人類はしっかりと克服しました。

現在、全国民を対象としたワクチン接種プロジェクトが国と自治体が一体となって着々と進行しています。特效薬の開発にも日本を含め各国が官民挙げてしのぎを削っており、希望の光が見えてきました。

一陽来復とは中国の言葉で、冬は去り春が来る、転じて悪いことが長く続いた後でようやく良い方向に向かうことの例えにつかわれてきたといえます。この四字がいつにも増して身にしみる今日この頃です。希望の春、婦人会の皆さんの笑顔溢れる活動が再開される日は必ずやってくる信じています。

令和2年度を ふりかえって



今年度を振り返って

遠藤 敦子

令和2年度は、今まで、私たちの経験したことのない、様々な出来事が起こった、忘れることができない年でした。1年間ほとんど何も出来ない状況でしたね。只々皆さんが元気に、コロナ禍を乗り切ってくださったことが、本当に喜ばしいことです。

目に見えないウイルスに怯え、恐怖からくる焦燥感から、様々なものを買ひあさる人々、今までにもその都度経験してきた状況、この中で私たちが、自分を信じて如何に行動するか否か、冷静に考えることが必要不可欠でした。

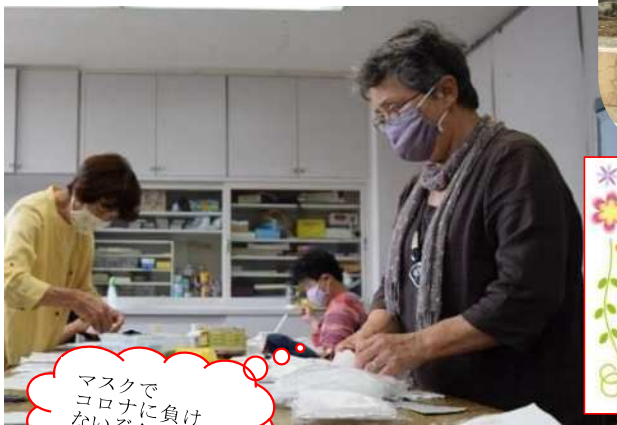
4月に発出された緊急事態宣言は、私達のおぼえのある人生の中で、初めての出来事ではなかったでしょうか。その緊張感の中で我が家にいることの安心感は、私にとって落ち着いていて、心が安らぐひと時でした。突然訪れた、思ってもみなかった自由な時間、例え様々な制約があったとしても、その中でどの様に過ごすか、少し、うきうきしながら考える自分がいて、まだ、大丈夫。コロナに負けないと思えました。

まだまだ、先が見えない状況ですが、明けられない夜はない。その時まで健康で元気にいましょう。明けたらまた、皆さんと楽しくレッツ婦人会 ♪ですよ！

マスク作りについて

府川 温子

今年度の婦人会活動の初仕事として、6月に子供用マスク作り200枚の制作に協力しました。各支部に分かれて担当枚数のマスク作りは想定外の小ささに少々苦戦しましたが、ほんとうにかわいいマスクが出来上がり、ちよつと感激しました。たまに町内でそのマスクをつけたお子さんを見かけると、『役に立ってるんだ・』と、とても嬉しく思います。



マスクで
コロナに負
けないぞ！！

9月10日開成町社会福祉協議会をとおし、熊本県南豪雨義援金を送金致しました。





本部



交通安全キャンペーン

内藤節子

足柄地区婦人団体連絡会の事業として、会員の手により交通安全祈願の折り鶴を作成しました。交通安全意識の向上と交通事故の撲滅をお願いして運転手に手渡すキャンペーンです。コロナ対策としてマスクと手袋の着用と折り鶴をビニール袋に入れて配布しました。吸盤を袋の外に出して封をした所、糸が絡んでしまい会員の方が根気よく解いて下さいました。当日、9月28日、教育長・教育総務課・交通指導隊・警察の方々と会員6名で実施致しました。ご協力有難うございました。

えんじょい部活動

今年度は、コロナウイルスの影響で本来の活動が出来ないなか、民踊部は身体作りの為11月13日にあじさい公園舞台棟でストレッチをしました。体を動かしたり、踊ったりして日頃の運動不足解消に努めました。久しぶりに部員同志、交流ができたと思えました。

しかし、新しい年を迎えてもコロナウイルス感染拡大が収まらず、大変な年になっていますが、コロナに負けないよう健康に気をつけて頑張りたいと思います。

そして又、皆様と活動が出来るように願っています。

民踊部

瀬戸妙子



令和2年度活動報告

4月	婦人会総会	資料配布のみ	12月 9日	第二回ウォーキング
	上地婦連総会	資料配布のみ	1月 12日	定例会 町民センター
6月 7日	定例会	舞台棟にて	2月 10日	雛飾り展示協力 瀬戸屋敷
29日	マスク納品	幼児用マスク配布事業	22日	第三回ウォーキング
7月 10日	上地婦連定例会		3月 4日	雛飾り片付け協力 瀬戸屋敷
8月 4日	定例会	町民センター	10日	第四回ウォーキング
9月 28日	折り鶴キャンペーン		17日	上地婦連定例会 会計監査
10月 16日	上地婦連定例会		22日	会計監査
28日	第一回ウォーキング		31日	役員引継ぎ
11月 10日	定例会	町民センター		

福利厚生部 (一般) 小林みほ子

福利厚生「一般」の部でウォーキングが行われましたが、私は10月と12月のウォーキングに参加し好天の中、開成町の北部と南部を歩きました。車では通った道でも、違う道に感じる位、辺りの景色も新鮮に見えました。各自治会の掲示板ポスターのマークをチェックシートに書きました。

コロナ禍で外出も控えていたので、久しぶりに体を動かし、ストレス解消になりました。なんと歩数計は一万歩越えになりました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。



福利厚生部 (手芸) 石井ヨウ子

今回、コロナの感染を防ぐために、3ヶ所の自治会館をお借りして、7回の手芸教室を行いました。

大きいボールに人形が乗った感じの作品は、簡単に見えても、なかなか大変な工程が多く、細かい部分や髪型などは、初めての試みもありましたが、皆さんとても頑張っていました。ポイントだけを手芸教室で習い、あとは宿題として家で作る事が多く、コロナの感染を気にしながら、毎回消毒やマスクをしながらの教室でしたが、会員の皆さんに会える事も楽しい時間でした。指導して下さいました。役員さん何回も、お手伝いご苦労様でした。



広報部 中原通子

毎年、会員の活動を広報誌に載せてきていましたが、今年度は、ほとんどの行事が中止になりました。これまでのような活動ができなくなりました。そんな状況でもマスク作り、ウォーキングや手芸教室等に参加された皆さんに笑顔が溢れていましたし、月2回の交通安全指導でも各地域で旗を振り、子ども達の安全を見守りしている姿に、いつもと変わらない婦人会のパワーを感じました。

広報部も毎回、パソコンに向かい、格闘(笑)しながら会員の元気を届けたいと頑張りました。皆さんのご協力に感謝します。



元気in支部活動

金井島 中川淳子

今年度も部員は11名で、元気よくスタート!!
するはずが新型コロナウイルス感染の影響で
各行事が次々に中止になりました。支部の方と
お会いすることができないまま、主な自治会活
動（夏祭りの焼きそば作り・公民館清掃・防災
訓練の炊き出し）も中止で、手芸が得意な方が
マスク作りをして下さいました。先日、写真撮
影をする為に集まりました。みんなの元気な姿がありマスクをしながらのひとときでしたが、おしゃべりに花
が咲きました。新型コロナが早く収束して皆で活動できることを願います。



上延沢 露木美子



本年度はコロナウイルスにより、各活動が中止
となりましたが、例年ウエスを納入している会社
からの要望で、5月と10月、三密に十分注意しな
がらウエス切りを行い、無事届ける事ができまし
た。又、7~8月には恒例の支部手芸を行い、タペ
ストリーを作成しました。半幅帯にミニチュアの

着物・櫛・巾着袋等の押し絵を配し、とても可愛くできて、和やかな時間を過ごすことができました。

息も詰まる様なコロナ禍の中、少しでも支部活動ができて良かったと思います。

下延沢 瀬戸のり子

婦人会支部の活動もなかなかできずにいま
すが、昨年の6月町から、幼児のマスク作成の依頼
があり、当支部では自治会館で、換気・消毒・ソ
ーシャルディスタンスをしっかりと守り、支部定例
会を「マスクの作成」として、又会員同士近くに
いてもなかなか会う事も出来ずにいますので、昼
食を近所の料理屋さんからテイクアウトし、久し振りに話を花を咲かせ楽しい時を過ごすことが出来ました。
又本部よりマスクの型紙を戴いたので、皆さん持ち帰り家族のマスクを作った様でした。コロナ禍の中、笑顔
を忘れずおだやかに心豊かな日々を過ごせますように…



円中 千葉とし子



今年度は、いろいろな行事が中止になってしまい、会員さ
んにもなかなか会えない状態でした。その中で、6月にはマ
スク作りの依頼（町から）があり、三密に注意しながら久し
ぶりに集まって楽しく行うことが出来ました。8月には交通
安全折り鶴キャンペーンで折り鶴を折りました。1月には支
部活動で、ブローチ作りを予定していましたが、材料を配り、
後日作ろうと思っています。日々の当たり前の生活を送れる
ことがいかに幸せなことかを改めて感じた一年でした。





牛島 伊藤香代子

一昨年武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中が混乱した一年となりました。私達牛島支部の活動も多くの行事が中止となる中、ウエス作りを二回行いました。久しぶりの再会に皆さん生き生きとし、改めて活動の喜びを感じました。6月に行われた町から依頼の「幼児用マスク作り」にも殆どの方が参加され手作りの温かさを共有でき、コロナ禍でも皆さんの協力的パワーに励まされました。通常の生活に戻れるのはいつになるか見通しがたちませんが、健康を保ちながらいつでも始動できるよう元気な婦人会であり続けたいものです。



上島 石井サト子



新型コロナウイルスのため、活動らしい活動が出来ない年でした。活動が出来ないながらも、上島恒例のゴキブリだんごを密にならないように、公民館の窓は開け放し離れて作り、毎年置いておくところに置くことが出来てほっとしています。おでん味噌もやはり作りました。いつもなら雑談や料理を持ち寄って楽しいひとときなのに、今回ばかりはすぐに帰りました。干支作りも、材料が揃わずに1月になって、分散してやりました。かわいい、うしさんが出来ました。緊急事態宣言が出てますが、要請をしっかり守って感染しないように頑張っていきたいと思います。

榎本 石井多美子

4月、ドラッグストアにはマスクを求める人の長蛇の列でした。そんな時、何か私達にできる事はないかと思い、近所の小学生がマスクなしで遊んでいるのを見て、マスク作りを考えました。家にあった布と当初は入手困難なマスクゴムの代わりにTシャツを利用し接触を避けて各々の家で製作しました。高学年・低学年と2種類作り、榎本子供会の役員さんから子供たちに届けていただきました。今も戦々恐々の状況ですがあのマスクをつけたお子さんを見かけると明るい出口に向かって一緒に乗り越えている気持ちになります。医療従事者の方々に感謝をし、皆の心は濃厚接触で、できる事をやっっていこうと思います。



下島 安斉勝子



令和2年度コロナ感染の為、活動がすべて中止となりました。8月には、自治会の夏祭りでフランクフルトの販売、9月には秦野で落花生掘りと予定していたのですが、何一つ活動できませんでした。今思えば、第1回目の定例会が青空のもと舞台棟で行われた事が、楽しい思い出の一つとなりました。楽しみにしていたひな祭りも、1月の定例会で中止と伝えられてとても残念です。以前の様な日々になりますように願うばかりです。



令和2年度の活動写真

手芸教室で頑張りました。



交通安全指導に協力！



下延沢

榎本

牛島



上島

上延沢

円中



金井島

下島

編集後記

相次いで行事が中止になり、撮影の機会が減ってしまいましたが、皆様のご協力により105号を発行する事ができました。

ありがとうございました。 広報部一同